

下関市立豊田中央病院 広報誌

— 2026年1月23日発行 —
(令和8年)

Vol. 66

木タル通信

～地域密着 いつでも安心 豊田中央病院～



下関市立豊田中央病院広報委員会
〒750-0424 下関市豊田町大字矢田 365 番地 1
電話：083-766-1012 / FAX：083-766-1439



■ホームページ

<https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/toyotabyoin/>



■公式 Facebook

<https://m.facebook.com/profile.php?id=100070141929020>



院長 吉富崇浩

年頭のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

日頃より豊田中央病院の運営に対し、地域の皆さま、関係機関の皆さまから温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年が、皆様にとって希望に満ちた明るい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

当院は急性期から慢性期、在宅医療まで、地域に根ざした医療を担ってまいりました。しかしながら、昨今の医療を取り巻く環境は大変厳しく、物価や人件費の高騰、医療需要の変化などにより、当院の経営状況も決して楽観できるものではありません。そのような中であっても、「この地域に必要な病院であり続ける」ことを使命とし、職員一同、日々知恵を絞りながら診療を続けております。

昨年を振り返りますと、地域医療の質向上につながる明るい話題もありました。2年間不在であった眼科常勤医師が復活したことです。さらに、整形外科においても常勤医師を迎えることができました。これにより、地域で完結できる診療の幅が広がり、特に高齢者の運動器疾患や外傷への対応力が向上しております。当院にとっても、地域医療にとっても大きな前進であったと考えております。

本年は新たな取り組みとして、殿居診療所においてオンライン診療を試験的に導入します。具体的には看護師が同席し、診察機器操作や処置の補助を行う方式（D to P with Nurse）を採用します。医師不足や移動負担といった中山間地域特有の課題に対し、デジタル技術を活用しながら、より持続可能な医療提供の形を模索してまいります。

2026年を迎え、いわゆる「2025年問題」は一つの通過点となりました。これからは、その先にある医療・介護・福祉・生活が一体となった

「地域共生社会」を見据えた取り組みが一層重要になります。

病院の中だけで完結する医療ではなく、地域全体で支え合う仕組みづくりに、当院も積極的に関わっていきたいと考えています。

厳しい状況ではありますが、地域に寄り添い、必要とされる病院であり続ける努力を重ねてまいります。

本年もどうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第3回地域交流フェアを開催しました！

令和7年11月1日（土）、当院にて「地域交流フェア」を開催しました。当日は秋晴れの穏やかな天候にも恵まれ、地域内外から多くの皆さまにご来場いただきました。お忙しい中お越しくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

開会に先立ち、尺八演奏が披露されました。懐かしの歌謡曲から、今話題の楽曲まで幅広い演目が演奏され、会場にはやさしく温かい音色が響き渡りました。来場者の皆さまも自然と足を止め、耳を傾けるなど、和やかな雰囲気の中で地域交流フェアがスタートしました。

当日は、子どもから大人まで楽しみながら医療や健康について学べる、さまざまなイベントを実施しました。

病院見学ツアーでは、普段は立ち入ることのできない病院の裏側をご案内し、実際の医療現場の雰囲気を体感していただきました。参加者からは「病院の仕事がよく分かった」「安心感が高まった」といった声が聞かれました。



子どもドクター・子どもナース体験では、白衣に身を包み、本物の医療機器を使って心臓や血管の音を聴く体験を実施しました。目を輝かせながら取り組む子どもたちの姿が印象的で、未来の医療者の誕生を感じさせるひとときとなりました。



健診コーナーでは、骨密度・血管年齢・体脂肪の測定を行い、楽しみながらご自身の健康状態を確認していただきました。日頃の健康管理を見直す良い機会になったとの声も多く寄せられました。

運動・マッサージ体験コーナーでは、ウォーターベッドや全身運動器の体験に加え、握力測定などの体力測定に挑戦していただき、幅広い年代の方が参加されました。

また、呼吸の相談コーナーでは、慢性呼吸器疾患看護認定看護師が、咳や痰、息切れなどの症状について個別に相談を受け付け、専門的な立場から丁寧にアドバイスをを行いました。



院内では尺八の演奏も行われ、その音色に誘われて多くの来場者が足を止め、ゆったりとした時間を楽しんでいました。最後は恒例の餅まきを実施し、会場は笑顔と歓声に包まれました。さらに、豊田町のマスコットキャラクター「ほたるん」も来場し、子どもたちに大人気となりました。

今回の地域交流フェアを通じて、地域の皆さまと直接ふれあい、当院の取り組みや医療をより身近に感じていただくことができました。

今後も地域に開かれた、親しみやすい病院づくりを目指し、さまざまな取り組みを続けてまいります。



音楽鑑賞会を開催しました！

令和7年12月13日に「音楽鑑賞会」を開催しました。

本鑑賞会は、入院患者様に心安らく時間をお過ごしいただくことを目的に、当院職員が中心となって企画している院内行事です。

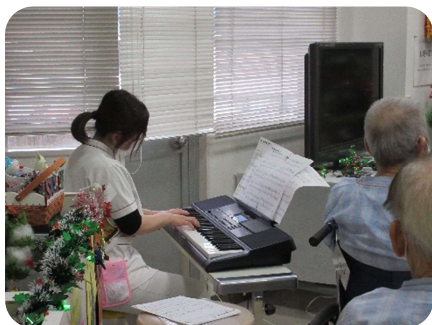
当日は、当院看護師によるピアノ演奏に加え、妙音流尺八の方による尺八とサックスのアンサンブル演奏が披露されました。

演奏曲目は、季節感あふれるクリスマスソングのほか、昔懐かしい歌謡曲を中心に構成され、会場には優しく温かな音色が響き渡りました。

演奏の途中には、職員や入院患者様が飛び入りで参加する場面もあり、会場は笑顔と拍手に包まれ、終始和やかな雰囲気となりました。音楽を通じて、患者様と職員が心を通わせる、あたたかな交流のひとつとなりました。

今回の音楽鑑賞会は、患者様にとって療養生活の中の楽しみのひとつとなるとともに、職員にとっても患者様と心を通わせる貴重な機会となりました。

今後も当院では、医療の提供だけではなく、患者様の心に寄り添う取り組みを大切にしながら、安心して過ごしていただける病院づくりに努めてまいります。



「みんなのかだん」の植え替えをおこないました！

11月12日、地域住民の皆さま、豊田地区まちづくり協議会、山口県立山口農業高等学校西市分校の皆さまと一緒に、「みんなのかだん」の植え替え作業を行いました。

当日は、ナデシコ、ハボタン、キンギョソウなど、季節を感じられる花々を丁寧に植え、花壇は色とりどりに生まれ変わりました。

多くの方々のご協力により、地域に彩りと温かさを届ける花壇となりました。今後も地域の皆さまとともに、心やすらぐ環境づくりを大切にしていきます。

